



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

このたび、組合員並びにお取引先の皆さまに当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆さまから愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

2020年度の我が国経済を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、二度にわたり緊急事態宣言が発出されるなど経済活動が停滞し、私どもの取引先である中小企業・小規模事業者におかれましては、感染症拡大の影響から飲食、宿泊業関連を中心に幅広い業種で売上が低迷し、厳しい状況が続きました。

このような危機時において、平時から事業者と緊密な関係を築き、事業実態の理解に努めている当組合といたしましては、できる限り迅速な支援に努めてまいりました。今般のコロナ禍では、事業性評価や伴走型支援といった金融機関の平時からの取組みの真価が問われたと感じているところです。

今年度に入りましても、感染再拡大や緊急事態宣言の再発令で、事業者の業況改善に向けた動きは力強さを欠いており、また、地域経済につきましては、従来からの人口減少や少子高齢化といった構造的要因が、中小企業・小規模事業者における人材不足や事業承継などの経営課題を顕在化させております。

既にワクチン接種が開始され、その効果が期待されておりますが、今しばらくの間は厳しい状況が続くと予想されます。このような状況の中で、当組合は引き続き中小企業・小規模事業者のお客さまや個人のお客さまに寄り添い、金融の円滑化やコンサルティング機能の発揮を通じた支援に努めてまいります。

当組合は“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆さまと共に歩み、地域と共に発展する信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

理 事 長 山本 英博